

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2004-47843 (P2004-47843A)  
 【公開日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-006  
 【出願番号】特願 2002-204978 (P2002-204978)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 K 7/20  
 F 2 5 D 9/00  
 G 0 6 F 1/20  
 H 0 1 L 23/473

【F I】

H 0 5 K 7/20 M  
 F 2 5 D 9/00 B  
 G 0 6 F 1/00 3 6 0 C  
 G 0 6 F 1/00 3 6 0 A  
 H 0 1 L 23/46 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 6 月 27 日 (2005.6.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

発熱素子を取付けた第 1 の筐体と、この第 1 の筐体に複数のヒンジで回転支持され表示器を有する第 2 の筐体とを備えた電子装置において、

前記発熱素子に接続された受熱ジャケットと、前記第 2 の筐体内に取付けられた放熱パイプと、この放熱パイプに取付けられた放熱板と、この放熱板に取付けられたタンクと、前記第 1 の筐体内に取付けられ前記タンク内の液体を前記受熱ジャケットに移送する液駆動手段とを備え、前記受熱ジャケットと前記放熱パイプと前記タンクと前記液駆動手段を接続する配管のうち前記ヒンジを通す配管がフレキシブルチューブで接続されてなり、

前記複数のヒンジは、前記タンクの出口側配管と前記受熱ジャケットとを接続するフレキシブルチューブと前記液駆動手段と前記タンク入口側配管を接続するフレキシブルチューブを通す第 1 のヒンジと、前記表示器からの電線を通す第 2 のヒンジであることを特徴とする電子装置。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 8】  
 【課題を解決するための手段】

上記目的は、発熱素子を取付けた第 1 の筐体と、この第 1 の筐体に複数のヒンジで回転支持され表示器を有する第 2 の筐体とを備えた電子装置において、前記発熱素子に接続された受熱ジャケットと、前記第 2 の筐体内に取付けられた放熱パイプと、この放熱パイプ

に取付けられた放熱板と、この放熱板に取付けられたタンクと、前記第 1 の筐体内に取付けられ前記タンク内の液体を前記受熱ジャケットに移送する液駆動手段とを備え、前記受熱ジャケットと前記放熱パイプと前記タンクと前記液駆動手段を接続する配管のうち前記ヒンジを通す配管がフレキシブルチューブで接続されてなり、前記複数のヒンジは、前記タンクの出口側配管と前記受熱ジャケットとを接続するフレキシブルチューブと前記液駆動手段と前記タンク入口側配管を接続するフレキシブルチューブを通す第 1 のヒンジと、前記表示器からの電線を通す第 2 のヒンジであることにより達成される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】